

若手消防団員紹介



羽曳野市消防団 藤川悠汰

大学4年生の時に就職も決まり、後は卒業を待つという時期、これまでお世話になった羽曳野市と地元の方々のために少しでも役に立てないか、そして何か新しいことをしたいと考えているとき、友人が消防団に入るという話を聞いて、誘われ入団しました。

昨年9月1日に行われた第63回大阪府消防操法訓練大会ポンプ車操法の部に参加するために、3月から約半年間訓練を行い、優勝したことが記憶に残っています。

ずっと個人競技のスポーツをしていたので団体競技というのが初めてで、不安もありましたが皆さん優しく接してくれたので、すぐに馴染むことが出来たことと、一番年下での参加だったので、練習に対する姿勢や人生相談など勉強になりました。

良かったことは、訓練に参加出来たことにより、さまざまな方と交流する機会が増えたこと、そして先輩消防団員に協力して頂いたことなど、色んな人と巡り会えたことです。

また、消防団に入らないと経験出来ないことが経験出来たことです。AEDの使い方を始め、救命、防災に関する知識、自主防災訓練の指導、夜警など入団していなかったら実際使わなかったかもしれないし参加することもなかったと思います。